

# 「東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会」 ニュースレター 第12号

## 【第1回協議会結果報告】

- 開催日時：平成20年3月13日（木）10:30～11:30
- 開催場所：名古屋市中区三の丸 桜華会館
- 参加人数：70名



第1回協議会の様子

### ■協議会開催にあたり



協議会開催にあたっての細見河川部長の挨拶

協議会を立ち上げの発端は、平成17年にニューオーリンズを襲ったハリケーン・カトリーナです。被災地のゼロメートル地帯と濃尾平野のゼロメートル地帯の面積はほぼ同じでありながら、濃尾平野では約3倍もの人が居住されております。当地で同じことが起きたらどうなるのか、地域住民の方もご心配されております。

ハリケーン・カトリーナの被災から2ヶ月後、中部地方から調査団を派遣しました。調査で得た大変貴重なデータを基に、弥富埠頭で複合型災害防災実働訓練を行い、ヘリで土嚢を吊り堤防を締め切る工法等を試みました。それがカトリーナによる被災から翌年の5月のことです。

その後、情報共有し戦略を練る会議が必要であるという経緯から、平成18年11月より、作業部会を開催してきました。

「敵（災害による外力）を知り、己（災害に対する防御力）を知る」を一つの掛け言葉とし、皆さんで議論をし、知恵を出し合いました。もう一つ、総括ファシリテータとして、災害を克服する「克災」という言葉で、私たちの考えを打ち出していかなければならないと考えておりました。そんな想いがあり、ここまで皆さんたちのご議論を願った動機であります。

まずは第1稿ではありますが、危機管理行動計画がとりあえずは形となりましたので、それを受け止めていただいて、協議会の設立にご賛同いただけるようお願い申し上げます。

## ■第1回協議会の概要

冒頭の挨拶終了後、「東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会 規約（案）」は委員（※）の全会一致を以って承認を得ました。

続いて、平成 18 年 11 月より行ってきた 11 回に及ぶ作業部会（9 回）・現地ウォッチング（2 回）の成果である「危機管理行動計画（第一版）」について、委員の全会一致を以って承認を得ました。

また、今後の予定として、中央防災会議の専門調査会で本協議会での取り組み発表、危機管理行動計画に関するシンポジウムの開催、伊勢湾台風 50 年記念事業の展開について発表しました。

※協議会委員は最後のページに記載



協議会で承認された危機管理行動計画（第一版）

## ■今後の予定

### ○第 9 回大規模水害対策に関する専門調査会にて中部の取り組みを報告

- ・ 日時：平成 20 年 3 月 25 日（木）14:00～17:00
- ・ 場所：全国都市会館 3 階第 1 会議室

### ○大規模・広域的水災への備えをみんなで考えるシンポジウム

- ・ 日時：平成 20 年 3 月 28 日（金）14:00～17:00
- ・ 場所：栄ガスビル・ガスホール
- ・ 危機管理行動計画の基調報告（TNT 総括ファシリテータ 辻本名大院教授）
- ・ パネルディスカッション（辻本名大院教授、片田群大院教授、他）

## ■東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会 関係機関

### 【国の地方支分部局】

中部管区警察局、東海総合通信局、東海北陸厚生局、東海農政局、中部経済産業局、中部近畿産業保安監督部、国土院中部地方測量部、中部地方整備局、中部運輸局、名古屋地方気象台、第四管区海上保安本部、陸上自衛隊第 10 師団

### 【地方公共団体】

岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市、海津市、養老町、津島市、稲沢市、愛西市、弥富市、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛島村、桑名市、木曽岬町、朝日町、川越町

### 【ライフライン管理者・施設管理者・指定公共機関等】

日本赤十字社愛知県支部、日本放送協会名古屋放送局、中日本高速道路㈱名古屋支社、東海旅客鉄道㈱、西日本電信電話㈱名古屋支店、東邦瓦斯㈱、中部電力㈱、㈱NTTドコモ東海、中部地区LPGガス連合会、名古屋港管理組合、四日市港管理組合

### 【オブザーバー】

岐阜県警察本部、愛知県警察本部、三重県警察本部、東海商工会議所連合会、(社)中部経済連合会

計 48 機関

当ニュースレターに関しまして、ご意見・お気付きの点等がございましたら、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

s852320@cbr.mlit.go.jp

協議会事務局（中部地方整備局河川部）  
平成 20 年 3 月 17 日発行